

■ばれいしょの病害虫防除体系

月旬		4月			5月			6月			7月			8月																																			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																																	
生 育 ス テ ー ジ		種 消	芋 浴 催	光 芽	植 付		萌 芽 期		着 蕾	期 開	花 期				黄	変 期																																	
食 用 種	疫 病	1. 種芋消毒の実施 <table><tr><th>薬剤名</th><th>希釈倍率</th><th>黒あざ病</th><th>黒あし病</th><th>そうか病</th></tr><tr><td>バリダシン粉剤DL</td><td>種芋重量の0.3% (種芋粉衣)</td><td>●</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バリダシン液剤5</td><td>200倍 (浸漬)</td><td>●</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バクテサイド水和剤</td><td>50～100倍 (浸漬)</td><td></td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>アグレプト液剤</td><td>100倍 (浸漬)</td><td></td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>アタッキン水和剤</td><td>40～60倍 (浸漬)</td><td>● 40倍</td><td>● 40倍</td><td>●</td></tr></table> ● 2剤を混用する(例:バリダシン液剤5 + アグレプト液剤)ことで、「黒あざ病」、「黒あし病」、「そうか病」の3病害に対応可能。 ● アタッキン水和剤(40倍)は、3病害に登録有り。										薬剤名	希釈倍率	黒あざ病	黒あし病	そうか病	バリダシン粉剤DL	種芋重量の0.3% (種芋粉衣)	●			バリダシン液剤5	200倍 (浸漬)	●			バクテサイド水和剤	50～100倍 (浸漬)		●	●	アグレプト液剤	100倍 (浸漬)		●	●	アタッキン水和剤	40～60倍 (浸漬)	● 40倍	● 40倍	●	グリーン ベンコセブ 水和剤 (600倍)	ゾーベック エンカンティア (2,000倍)	プロボース 顆粒水和剤 (1,000倍)	フロンサイト ^{SC} (1000倍) または ダイナモ 顆粒水和剤 (2,000倍)	カビナイス PZ水和剤 (600～800倍)	ホライズン ドライフロアブル (1,500倍)	ランマンフロアブル (1,000倍)	ドイツホルダー DF (500倍)
	薬剤名	希釈倍率	黒あざ病	黒あし病	そうか病																																												
バリダシン粉剤DL	種芋重量の0.3% (種芋粉衣)	●																																															
バリダシン液剤5	200倍 (浸漬)	●																																															
バクテサイド水和剤	50～100倍 (浸漬)		●	●																																													
アグレプト液剤	100倍 (浸漬)		●	●																																													
アタッキン水和剤	40～60倍 (浸漬)	● 40倍	● 40倍	●																																													
	軟 腐 病												スターナ水和剤 (1,000倍)	バクテサイド [®] 水和剤 (1,000倍)	銅ストマイ 水和剤 (600倍)																																		
	ア ブ ラ ム シ	2. 種子切断刀消毒の実施 切断刀消毒剤 ケミクロンG 10倍 マレクイックA 20倍 ●切断刀からの病害伝染を防止するために実施する(黒あし病)。 ●ケミクロンGとマレクイックAを混用しない。										ベシホン乳剤 (1,000倍)		オルラン水和剤 (1,000倍) または ジェイエース 水溶剤 (1,000倍)		ゲットアウトWDG (2,000倍)	ビレスコ 顆粒水和剤 (10,000倍) または アドマイヤー 顆粒水和剤 (10,000倍)																																
食 用 種	疫 病											グリーン ベンコセブ 水和剤 (600倍)	ゾーベック エンカンティア (2,000倍)	プロボース 顆粒水和剤 (1,000倍)	フロンサイト ^{SC} (1,000倍)	カビナイス PZ水和剤 (600～800倍)	ホライズン ドライフロアブル (1,500倍)	ランマンフロアブル (1,000倍)	ドイツホルダー DF (500倍)																														
	子 軟 腐 病	3. 浴光催芽の実施 【ポイント】 ● 種いもを10～20℃の明るい所に置き、濃緑で短い幼芽を育てる。 ● 催芽期間は3週間前後とし、日中25℃以上、夜間5℃以下にしないように管理する。 【効果】 ● 萌芽が7～10日早まり、初期生育の促進、塊茎肥大、収量安定が期待できる。 ● 巨大粒や中心空洞の発生が抑えられ、生育や品質の均一化が期待できる。 ● 草丈が低く丈夫な茎葉となり、倒伏や病害発生の減少効果が期待できる。													スターナ水和剤 (1,000倍)	バクテサイド [®] 水和剤 (1,000倍)	銅ストマイ 水和剤 (600倍)																																
	ア ブ ラ ム シ	セフィーナDC (2,000～4,000倍) または コルト顆粒水和剤 (4,000～6,000倍)										ベシホン乳剤 (1,000倍)	ゲットアウトWDG (2,000倍)	オルラン水和剤 (1000倍) または ジェイエース 水溶剤 (1,000倍)	ビレスコ 顆粒水和剤 (10,000倍) または モスピランSL 液剤 (4,000倍)	ゲットアウトWDG (2,000倍)	アドマイヤー 顆粒水和剤 (10,000倍)	ウララDF (4,000倍)	ダントツEX フロアブル (5,000倍)																														

※ オオニジュウヤホシテントウの発生を確認した場合、アブラムシ防除の間隔を縮めるなどして対応する(オルラン水和剤1000倍、モスピランSL液剤4,000倍)。

4. 土壌施用剤の散布(植付時)

- 粉状そうか病対策として、「フロンサイドSC」、「オラクル顆粒水和剤」、「スキャブロックSC」などを全面散布後、土壌混和する。
- ケラ対策として、耕起して土の軟らかいうちにダイアジノン粒剤5を散布し、直ちに土壌混和する。
- 原採種ほでは必ずアブラムシ類の防除に土壌施用剤を使用する(薬効は施用後60～70日後に低下)。

使用方法	薬剤名	処理量・濃度	粉状 そうか病	アブラムシ 類	ケラ
全面散布 土壌混和	フ ロ ン サ イ ド SC	600ml	●		
	オ ラ ク ル 顆 粒 水 和 剤	250g	●		
全面土壌混和	ス キ ャ ブ ロ ッ ク SC	原液3Lを 33～50倍希釈	●		
作条施用	ダ イ ア ジ ノ ン 粒 剤 5	6kg			●
	ジ ェ イ エ ー ス 粒 剤	3～6kg		●	
	オ ル ト ラ ン 粒 剤			●	
	ア ク タ ラ 粒 剤 5	2～6kg		●	

(参考)アブラムシの種類と効果の高い殺虫剤

種類		ジャカイモヒゲナガ アブラムシ	モモアカ アブラムシ	ワタアブラムシ
媒介するウイルス病		葉巻病	Yモザイク病 キャリコ病 葉巻病、他多数	Yモザイク病 キャリコ病
形 状				
	頭 部	凹んでいる	凹んでいる	平ら
	触 覚	体長より長い	体長と同等	体長より短い
	角状管	体と同色	体と同色	黒色
殺 虫 剤 の 効 果	ダ ー ズ バ ン 乳 剤 4 0	◎	◎	○
	ベ ジ ホ ン 乳 剤	◎	◎	○
	ゲ ッ ト ア ウ ト W D G	◎	○	○
	オ ル ト ラ ン 水 和 剤	◎	◎	×
	モ ス ビ ラ ン S L 液 剤	○	◎	◎
	ア ド マ イ ヤ ー 顆 粒 水 和 剤	○	◎	◎
	ウ ラ ラ D F	○	◎	◎
	ダ ン ト ツ E X フ ロ ア ブ ル	○	◎	◎
	ビ レ ス コ 顆 粒 水 和 剤	◎	◎	◎
果	コ ル ト 顆 粒 水 和 剤	◎	◎	◎